

平成31年4月1日付人事異動発表にあたっての教育長コメント

平成31年3月20日

平成31年4月1日付の教職員の人事異動にあたっては、「教育等の振興に関する施策の大綱」及び「第2期高知県教育振興基本計画」の目標達成に向けた取組をさらに推進するための人員配置を行った。

特に、学力課題や生徒指導上の諸課題の解決を図り、学校目標を達成するために、リーダーシップを発揮しながら「チーム学校」を推進することのできる人材を管理職として登用するとともに、教職員については、それぞれの能力を最大限に発揮し、組織的・協働的に取り組んでいけるよう適材適所の配置に努めた。

小中学校においては、チーム学校の構築のさらなる推進を図るために、小学校については、「メンター制」を導入することとし、この効果的な運用についての研究を進めるため、研修コーディネーター8名を配置した。中学校については、学校規模に応じ、教科のタテ持ちや教科間連携など、教員同士が学び合う仕組みを全ての学校で実施していくこととした。

また、平成32年度からの新学習指導要領の実施に向けて、「小学校の外国語科」「特別の教科 道徳」や「主体的・対話的で深い学び」についての実践的な研究を行う研究校を継続して指定するとともに、中山間地域の学校の活性化や特色ある教育課程の研究のため、中山間の地域を指定して、研究推進のための教員を増員配置した。

さらに、厳しい環境にある子どもたちへの支援に向けて、不登校の予防と支援に向けた取組の強化を図るための研究校や地域を指定するとともに、推進リーダーとしての教員の配置を継続する。

高等学校においては、重要課題である「学力向上」及び「社会性の育成」、県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の着実な実行に向けて、学校経営計画に基づいた取組をさらに推進するための体制整備に努めた。特に、中山間地域の学校については、地元はもちろん、地域外からも生徒が入学したいと思えるような魅力と特色ある学校づくりを行うために、振興担当の副校長、主幹教諭及び専門力を有する教員配置に努めた。

また、グローバル教育のさらなる推進に向けて、開校2年目を迎える高知国際中学校に外国人教員を配置するとともに、国際バカロレア認定校において研修を積んだ教員を配置し、平成31年度も国際バカロレア認定校への研修派遣を継続する。

特別支援学校においては、児童生徒の障害の程度に応じた教育的ニーズに応える指導、支援の充実、自立のために必要な知識、技能、習慣の育成を図るため、障害種別の専門性を有する教員配置に努めた。加えて、新規採用や再任用教職員を増加し、指導体制の充実を図った。

これらの取組を支援するため、県教育委員会事務局においては、県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」に基づく各校の特色を生かした魅力化の推進や遠隔教育の充実に向けて、体制強化を図るため、高等学校振興課及び教育センター次世代教育推進部を新設した。

また、県中央部の知的障害特別支援学校児童生徒の増加への対応や、「2020こうち総文」、平成34年度に四国4県で開催する全国高等学校総合体育大会の開催に向けて必要な人的配置を行った。

さらに、高知市とのさらなる連携強化を図るために、高知市教育委員会が設置する学力向上推進室への指導主事の派遣を増員した。

平成31年4月1日付の人事異動総数（事務局を含む。）は、昨年度比192名増の2,723名であり、そのうち、管理職への登用者は122名、新規採用教職員は341名となっている。